



**Daiwa House®**  
Group

報道関係各位

2022年1月20日

大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 芳井敬一  
大阪市北区梅田 3-3-5

**研修施設「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」が  
国際的な環境認証「LEED®」、「WELL®」、「SITES®」の3つを日本で初めて同時取得**

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）は、研修施設「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」が、米国の Green Business Certification Inc.TM（GBCI 社）による3つの国際的な環境認証「LEED®」、「WELL®」、「SITES®」\*1を日本で初めて同時取得したことをお知らせします。

本施設は、建物・ランドスケープの環境性能や、利用者の健康・快適性、生物多様性など SDGs に関する取り組みが高く評価され、認証を取得しました。

なお、本施設は国内認証である「BELS」（省エネルギー）や「JHEP」（生物多様性）と合わせて5つの認証を取得しています。

今後、当社ではサステナブルな社会の実現に向け、自社施設における環境認証取得で培ったノウハウを活かし、お客さまの施設にも提案していきます。

※1. LEED、SITES、WELL および関連ロゴは、それぞれ U.S. Green Building Council®、Green Business Certification Inc.TM、WELL Building InstituteT が商標を所有し、許可を得て使用しています。

**【「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」が取得した環境認証】**

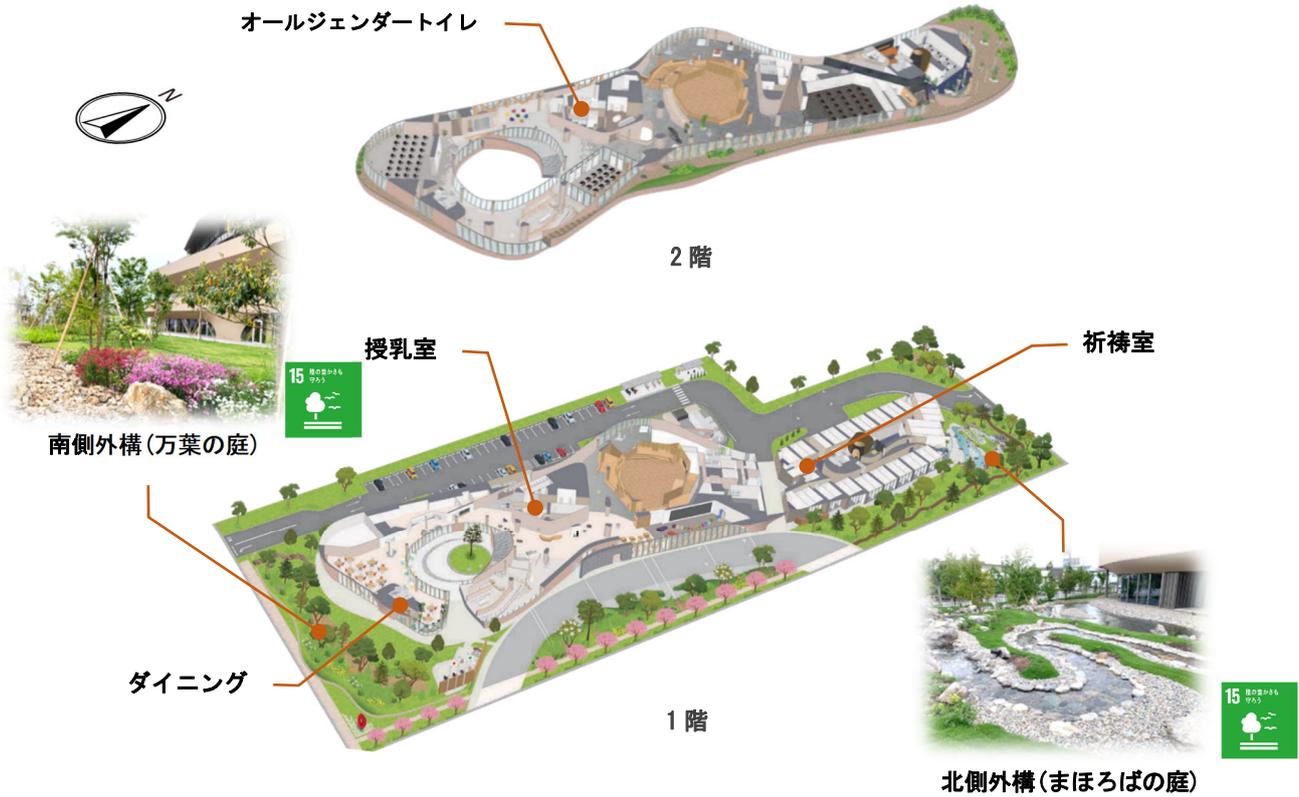
		認証名	認証レベル	認証日	内容
国際 認 証		LEED®	GOLD	2021年8月24日	環境配慮に優れた建築物であるグリーンビルディング*2を評価する認証
		WELL®	PLATINUM	2021年12月2日	建物を利用する人の快適性や健康への配慮を評価する認証
		SITES®	GOLD	2022年1月17日	ランドスケープ*3の持続可能性を評価する認証
国内 認 証		BELS	☆☆☆☆☆ (ZEB Ready)	2021年5月27日	建築物省エネルギー性能表示制度のことで、建築物の省エネ性能を第三者評価機関が評価・認定するもの
		JHEP	AA	2021年9月6日	公益財団法人日本生態系協会が生物多様性保全への貢献度を、客観的・定量的に評価・可視化した認証

※2. 建設や運営にかかるエネルギーや水使用量の削減、施設の緑化など、建物全体の環境性能を最大限に高めた建物。

※3. 風景や景色を形成する要素のこと。

## ●SDGsに配慮した施設設計

本施設は同規模の一般建築と比較して、一次エネルギー消費量を63%削減できる省エネルギー性能を備えているだけでなく、利用者の心身の健康増進や快適性の向上、生態系の再生などSDGsの達成につながる様々な取り組みを設計に採用しました。



【「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」の館内図(1・2階)】

### (1) 主なSDGs関連の設備

<p>出口 出入口 出口</p> <p>女性トイレ</p> <p>多機能トイレ</p> <p>男性トイレ</p> <p>2階EVホール</p> <p>5 ジェンダー平等と権利強化</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>
<p><b>オールジェンダートイレ</b></p> <p>出入口とは別に複数の出口を設けるなど、サインや動線を工夫することで、性別に関係なく、利用者が気兼ねなく使うことができるようにしました。</p>	<p><b>祈禱室</b></p> <p>宗教や宗派を問わず、多様な文化的背景をもつ利用者のため、祈禱室を設けました。瞑想などの心を落ち着けるための空間としても使用できます。</p>
<p>12 つながる健康づくり実行</p>	<p>5 ジェンダー平等と権利強化</p>
<p><b>ダイニング</b></p> <p>ダイニングでは、野菜と果物を4種類ずつ提供するなど、従業員の健康に配慮した食事を提供しています。さらに、環境面ではリサイクル原料50%のプラスチック食器を使用し、資源の有効活用を推進しています。</p>	<p><b>授乳室</b></p> <p>子育てをしながら仕事や研修ができるよう、授乳室を設けました。授乳室では、母乳育児にも対応できるよう、搾乳器や冷蔵庫を設置しています。</p>

## (2) 生物多様性への取り組み

本施設内に設けた庭園では、生物多様性保全に貢献するため、在来種や地場産材を採用することで、周辺の生態系を再生しました。

平城京跡地に位置する本施設では、地域の自然植生を考慮した植栽を基本計画として、南側の外構「万葉の庭」を中心に約 60 種の「万葉植物（万葉集で詠まれている物）」を植栽しました。その結果、奈良県希少種のチョウゲンボウの飛来など生物多様性保全の効果が表れています。



探餌で飛来したチョウゲンボウ  
(奈良県希少種)

## (3) 雨水活用による環境に配慮した外構計画



「レインガーデン」  
(左：降雨前、右：降雨後)

雨水を敷地外に出さずに浸透・貯留する庭園「レインガーデン」は、公共下水道への負荷低減や水害発生の抑制に貢献しています。

雨水活用では、屋根で受けた雨水を地下の貯留槽に貯め、植栽への散水やトイレの洗浄水として利用することで水道使用量の節減を図っています。また、北側の外構「まほろばの庭」の水景物にも活用しました。

## ■ 研修施設「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」について

所在地	奈良県奈良市西九条町 4 丁目 1-1
階数	地上 4 階建て
敷地面積	18,251.37m <sup>2</sup> (5,521.03 坪)
建築面積	7,121.24m <sup>2</sup> (2,154.17 坪)
延床面積	17,048.07m <sup>2</sup> (5,157.04 坪)
開所日	2021 年 10 月 1 日



建物外観

以上



お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06 (6342) 1381
	東京広報グループ	03 (5214) 2112